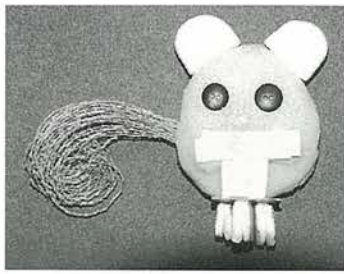




4年

さん



『コギコギリス』

※これは、三輪車にのったりします。スズキをまるめてしっぽにしました。



『さんぽのみち』



1年

小越 双葉さん

※家族で散歩に行ったよ。お花がたくさん咲いていたよ。大きな虹も出ていたよ。

あつまれみんなの力作



齊藤美咲



5年

齊藤 美咲さん

※筆順と字の形に気をつけながら、かきました。氏名もよくできていると思います。



2年

椎名 麻耶さん



『お花がわらってる』

※みんなで春の花だんを見に行ったら、お花がかげにゆれてわらっていたよ。



6年

橋浦 萌文さん



『校舎と花』

※緑と花に囲まれたすばらしい環境は私達東陽小の誇りです。



ゆき子



3年

小池 侑子さん

※「し」と「こ」をそろえるところがたいへんでした。

ひかり俳壇



川島 通則 (二又)
犬放ち少年駆ける立夏かな

果てしなく広がる立夏の草原、少年と犬が織りなす大自然との共演。壮大な景を想わず

伊藤 定男 (尾垂)
夏立ちて種苗売場に品の数

品種が豊富に揃った初夏の種苗店の光景が鮮やかに迫ってくる。消略化が効果的である

大木 静水 (篠本)
夏来る一夜の雨に川太り

夜来の豪雨が上がった川の状態を上手く詠んだ、動詞が上下にあるので下五は連用形とした

川島 孝夫 (二又)
駅を出て立夏の海のまぶしかり

秋山 一泉 (栢田)
老の夢かなえて見たし夏来たる

大木 素風 (二又)
帽振られ征きし立夏の兵の遺書

土屋 義昭 (虫生)
白き歯の青年羨し夏来たる

越川 義則 (二又)
果造りのつばめ夫婦の仲のよさ

短評 椎名しげる
評者吟
グラウンドに球音飛び交う五月かな